



中華門の建設、石畳舗装等による中華街の再生。地元若手経営者による町並の再興。

長崎新地中華街は、横浜、神戸と並ぶ日本の三大中華街の一つとして内外の観光客を集めている。

近年の建物の老朽化に伴う近代的ビルの建て替えにより、独特的の異国情緒が失われることに危機感を抱いた地元の若手経営者が団結し、中華街再興事業に取り組んでいる。

中国福州市から、技師四名を招き、本

格的な中華門を建設するとともに、市に要望し、福州市から二五〇トンの花崗岩の板石を輸入、中華街を縦横に走る市道に石畳を復元した。

中国との古くからの交易など、長崎の風土と人が異国情緒あふれる中華街の再生を実現させたものといえる。



データボード

■所在地
長崎市新池町8-1~13-14

■応募者
長崎市役所
☎ 0958-25-5151